

先輩に聞く！「大学の時間割」を教えてください！

◎Aさん（聖マリアンナ医科大学医学部医学科 2年）

□大学2年前期 ※1コマ65分

	月	火	水	木	金	土
1限	TBL	臨床医学	臨床医学	臨床医学	臨床医学	TBL
2限	TBL	臨床医学	臨床医学	臨床医学	臨床医学	TBL
3限		臨床医学	臨床医学	臨床医学	臨床医学	
4限	薬理学/実践医学	実習	実習	実習	英語	
5限	英語	実習	実習	実習	基本生物医学	
6限	心理学(選)	実習	実習	実習	中国語(選)	

◇TBLはZOOMでのグループワークの授業。土曜午前又は月曜午前のいずれかにあります。

◇弊学では昔の前女と同じく1コマ65分授業で6限まであります。(選)以外全て必修です。

○授業の特色

- ・臨床医学は週によって変わりますが消化器、呼吸器などを学んでいます。実践医学では学内外の先生を呼んで、医学部卒業後の様々な進路について学んでいます。医系技官や、僻地・離島医療、南極観測隊に医師として派遣された先生の話などがありました。
- ・火～木の実習では、前期では生化学や生理学などのとても幅広い実験を、後期では解剖実習を行います。

カエルを使った心電図測定、マウスから取り出した腸管の薬剤による収縮量の変化、自分の細胞をPCR法にかけてアルコール代謝酵素の活性(＝お酒に強いかどうか)を調べる実験などがありました。お酒に対する強さは遺伝子によって決まっていて、「GG型」「GA型」「AA型」の3タイプに分けられます。GG型の人は強い人、GA型は弱い人、AA型は全く飲めない人です。日本人に下戸が多く、欧米人に全くいないのはこの遺伝子の比率の違いによります。

日本人の場合、お酒に強い縄文人(旧モンゴル系、GG型)とお酒に弱い弥生人(新モンゴル系)をルーツに持つため欧米よりも酒に弱い人種集団になるそうです。このように自分の体を使うことでより意欲的に取り組み、理解が深まったと思います。実験動物を使うこともあり、医学の発展には必ず犠牲が伴うことを改めて感じました。

・1年次では「早期医療体験実習」という授業があり、人の一生を追うという目的のもと、マタニティクリニック・幼稚園・クリニック(主に内科)・老人ホームに実習に行きました。大学病院でも外来見学や看護実習、栄養部門や検査部門への見学をしました。低学年でも病院実習へ行く大学は少なくないですが、医療機関以外にも行くことは稀だと思います。普段は同じ年代の人としか交流の機会がありませんが、幼稚園や老人ホームに伺うことで様々な年代の人との関わり方を学ぶことができました。また、医師以外の医療職の方々の目線になることで医師だけではできないことが数多くあること、多角的な視点を持つことの大切さや

チーム医療の大切さに気付かされました。

□大学の様子・大学生活について

・医学科というと先生方は全て医師であると思われるかもしれませんが(実際私も入学までそう思っていました)、医学部出身ではない先生も沢山います。物理・生物・化学といった自然科学はもちろん、解剖学にも医学部以外の先生がいます。生物学や生化学等を専門とした先生が多く、それによって包括的に研究を行っています。ただ、単科大学なので限界もあり、明治大学や昭和薬科大学などの近隣の大学と共同研究も行なっているそうです。

・忙しさについてですが、どの医学部でも2年生はとても忙しいです。私の大学では基礎医学を1年次から始める分、国立大学医学部に比べるとまだマシだと思います。前期は実習レポート地獄なので、バイトの前夜や実習後はずっとキーボードを叩いています笑。空きコマがなく、毎日授業終了は17時頃なので他学科と比べて時間の制約はかなり大きいです。試験も覚える量が格段に増え、定期試験前は受験期と同じくらい机に張り付いています。と言うと遊べないじゃん！と思われるかもしれませんが、全くそんなことはありません！部活もバイトも遊びも思う存分やっています。

・自分の進路についてですが、私はずっと小児科医になりたいと思っていました。ですが、先述した1年次での「早期体験実習」という授業でマタニティクリニックに行き、実際にお産を見学させていただいてからは産婦人科医になりたいと思っています。そして、どの科に進むにせよ、自分が医師になりたいと思ったきっかけが「国境なき医師団」であるため、いつかは自分もその一員として活動する所存です。

先輩に聞く！苦手科目をどう克服したか

◎Bさん（東京大学 文科一類1年）

□国語

古典は比較的得意でしたが、現代文はあまり好きではなかったです。少しでも点数を上げるためにしたことは、

- ・現代文単語を読んで知識を増やす
- ・評論を週2回は読む
- ・段落ごとにちょっとした内容まとめを書く

ぐらいです。筆者の言いたいことを、筆者の考え方に沿って理解する必要性を感じたので、自分の主観が記述解答に入らないように意識してはいました。現代文単語は読んでおくと頻出テーマの評論が来たときに少しくラクになると思います。

古典に関しては、古文単語・漢文句形・用字を完璧に仕上げて、それを利用して問題を数こなすようにしていました。国語に苦手意識があるなら、担当の先生に自分の記述の癖を教えてもらうのも役に立つと思います！

□数学

1年の時は数学が大の苦手でしたが得意にすることができました。よく考えてみてください、数学といえども途中までは暗記で対応できます。私はその場で天才的ひらめきをするのは無理だと悟り、記述の仕方と解法を暗記して点数を稼ぐ方向に転換し、成功しました(笑)。私は高2まで「Hi-PRIME」以外に特に参考書は使っていませんでしたが、テストごとに全問題を完璧に仕上げていたので、受験期もそこまで苦労せずに済みました。「Hi-PRIME」は本当にオススメです。

2年生1年半後、受験で勝負できる自分にするために過ごす7,8月

2年生はこの長期休業（夏休み）を逃すと、次にこの長さの長期休業があるのは来年の夏休み。3年生の夏休み開始は、共通テストまで後180日と迫った時期となります。それでは大学受験は間に合いません（不合格、ランクを下げた大学にする）。だから、2年のこの7,8月のここで“あなたにとっての基礎”を身につけることが重要です。

具体的に何をやるのか

①自分にとっての基礎学力の定着

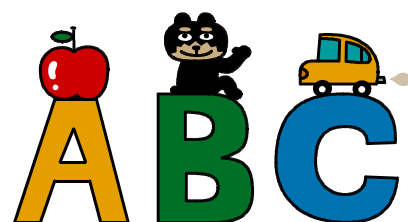
→自分の今の学力にあった学習をすることが一番効率的。

②1年～2年一学期までの復習

→例えば数学なら、数ⅠA～2年一学期までにやった数Ⅱ

③基本はやはり英・数・国

→教科担当の先生に「何を」「どれだけ」やればいいかを聞こう。



注目！部活動のある人は、絶対的な学習時間の確保&絶対勉強できる環境の確保

→好きでやっている部活の“せい”で学力の知識を積み上げられない＝自分の進路を狭めるな！

夏休み前に、進路を考える

大学調べ、学部研究。やりたいこと、興味あることが見つかり、そこに向かって頑張ろうってなるよね。そうすると、そこに入るためには「何」を「どれだけやる」必要があるかを知らなきゃだね。それが「受験科目調べ」です。「どれだけやる」とは、共通テストまでか二次試験までのレベルまでなのか、それを知ることによって、夏休みにそして2年生までに何を身につけておかなければならないかが見えてきます。1年生も職業調べ、自分探し～自分の適性～から、具体的に大学について調べてみてほしいんですよ。



3年生“熱さ”と“冷静さ”をもて。それは“思い”と“戦略”

これまで頑張ってきたことをさらにアップさせる7,8月

第1志望の「得点」を取るために何をやるのかを考えよ



受験まで、ライバルに平等に与えられているのは「時間」だ。制するためには、その時間を有効に使うこと。そのために何をするか。勝負の夏！と言われますが、その夏休みに入る前に少しでもライバルの一步前に出て、またはライバルに一步でも近づいていたいよね。

そのためには「戦略」です。それを明確にして、夢を叶える一步、踏み出そう。逆に、戦略がないまま突き進むことは効率が悪いし、やっていて不安になったり、空回ったりして「学力」が身に付いていない、という状態になってしまいます。

この時期の受験生、このまま行くとマズい「黄色信号」チェック項目を用意しました。「これは自分じゃないか！」というものがあったら黄色信号、しかし、ここで気づくことができたなら合格に向けて修正できる！

- ・「今の自分の実力とかけ離れたレベルの勉強（問題集）をしている→「やってるつもりになっているだけ」で身につけていない
- ・変なこだわりがあって、「ここを直せば、気をつければ」（「ここ苦手なんです」と言うだけで克服対策をしない、数学の計算ミスなど）を直せていない→最後の勝負所で踏ん張れない。ほとんどがこれで落ちている。「受かる」方策、戦略を優先せよ。
- ・部活が終わった後の切り替えができていない←目を見るとわかる
- ・授業で寝ている科目がある→無駄な時間を過ごしている。1分、1時間を大切にできていない。そもそも「本番は昼間」ということを理解していない。本番でできない確率を上げている。
- ・自分型と志望校の科目の相性が良くない（数学が苦手なのに2次に数学があるところが第一志望とか）→自分は何を優先してやるか、が理解できていない（間違っている）
- ・第1志望から第2,3,4志望の受験科目が合っていない→やるべきもの（受験科目）は揃える
- ・「この大学を狙うならこの科目にこのくらい時間をかけてこのくらい得点しないと勝てない」ということをわかっていない→同じ学力や能力の場合、“戦略”、“取るべきところを確実に取る”ことに優れている者の方が勝つのはわかるよね？

前女の“底力”を感じた2日間～保護者・OGのバックアップ～ PTA主催進路講演会6/30(木)

受験を経験した卒業生、保護者の方からのアドバイス

PTA 主催の進路講演会。今年は 6/30 に昌賢学園まえばしホール（大ホール）で開催することができました。

卒業生が受験の体験、特に親に対してやってもらってよかったこと、やめてほしいことなどを話してくれました。後半のパネルディスカッションでは、卒業生の保護者の方が親の受験体験談、観覧された保護者の方々は具体的なイメージができたのではないかと思います。

参加される保護者の方も多く、改めて預かる生徒をしっかり育て上げないと身が引き締まる思いとなりました。PTA の皆様が開催に向けてご尽力いただいたことに本当に感謝いたします。家庭、学校が協力、連携して、前女生の進路実現に向けてバックアップしていけたらと思います。

1年生前女OGを招いての社会人講話7/1(金)

将来をイメージするためにOGの方からのアドバイス

7名のOGの方に協力をいただき、「働くとは」「仕事の内容」などについて話をいただきました。1年生は興味のある分野・職種を2つ選択して受講しました。

例年11月に東京方面への「大学・企業訪問」の企画があるのですが、コロナウイルス感染拡大の影響もあり、現在実施することができません。その代替企画として、昨年度実施したこの企画、大変評判が良かったので、今年度も実施しました。「同じ能力を持ち、同じ環境で育った先輩達」の姿とメッセージは1年生に届いてくれたと思います。